

平成30年度第1回坂井輪地区公民館運営審議会 会議録

実施年月日	平成30年7月9日(月)午後2時～		
会場	坂井輪地区公民館 4階 第1講座室	出席委員	7名
		傍聴人	0名
出席者	委員	郷扶二子、江端明夫、佐藤信哉、高橋真規子、横坂幸子、渡辺 瞳、渡辺正友、内木正宏(欠)、大矢 隆(欠)、松尾雅美(欠)	
	事務局	坂井輪地区公民館	岸本真記、白井嘉弘、高橋勇人
		西地区公民館	玉木芳博、今城敬子
		黒埼地区公民館	鈴木 厚、佐藤和佳
		小針青山公民館	河原貢司、山際結城
議題	1 平成29年度西区公民館事業報告及び事業評価について 2 平成30年度事業計画の進捗状況について 3 その他		
審議内容について以下に記載する。			
郷議長	議事の1番目に入りたいと思います。平成29年度西区公民館事業報告及び事業評価についてです。昨年度2回目の審議会である程度の事業報告が終わっていますので、そのあと行われた事業及び事業評価について重点を置きまして、各館ごとに順番にお話しいただき、その都度質疑応答していこうと思っております。 まず、坂井輪地区公民館からお願いいたします。		
坂井輪地区公民館 岸本館長	資料1-1-1及び1-1-2により平成29年度事業報告及び事業評価について説明。		
郷議長	ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありませんか。		
横坂委員	家庭教育振興事業の幼児期1歳ですけれども、1月、2月の寒い時期に参加人数が募集を超えているので、魅力ある講座だったのですか。		
坂井輪地区公民館 岸本館長	幼児期家庭教育学級の内容としては、子育てマネープランということでファイナンシャルプランナーの先生から来ていただいて、子育てにかかわるお金などの将来計画に関する講義をされたようです。それから、アンガーマネジメント・シニアファシリテーターから、「私の中のいらいらはどこから」ということで、結構興味を引く内容のものでしたようです。時期にかかわらず、やはり子育てに生かせる講座というのは、皆さん興味があるようで、新潟市の公民館の一番の売りはここなのではないかと考えております。		
渡辺正友委員	ヨガの教室ですけれども、ヨガというと最近、非常に興味があるのかなと思っているのですが、4回ほどやられてトータル76名の方が参加されているようですが、どのような年齢構成なのか。分かる範囲内でけっこうですので、年配の人が多くとか。男性と女性の比率はやはり女性ですか。		
坂井輪地区	昨今ヨガは非常に人気が高く、やはり女性の方が多くようですが、男性の方も少し		

公民館 岸本館長	<p>は入っていらっしやいます。年代的には50代以降の女性の方が多いようです。こういう人気のある講座はしっかりと取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>この前のテレビ番組で、男女混合だと男性の方は気が引けてしまうというお話もありましたので、今後は男性向けのヨガ教室もいいのではないかと考えています。</p>
郷議長	<p>事業効果を見ますと、ゆりかご学級のサークルが二つできているのですが、講座が終わってからサークルとまでは行かなくても、何か緩やかなネットワークが作れるような新しい支援の方向ができるとさらに安心してこれからの子育てにもいいと思います。</p>
高橋委員	<p>きっと集まった方々も恐らくライン交換はしていると思うのです。その方々は、公民館外でずっとネットワークはつながっているとは思いますが、そこをどう公民館と結びつけるかが課題になってきているのではないかと思います。</p>
横坂委員	<p>広場になるような場所がない。公民館に目的があって行く人はいいけれども、目的がない人は広場のような空間が公民館にないという。公民館によって造りが全然違いますけれども、やはり広場的なことも求められているのではないのでしょうか。</p>
郷議長	<p>そういったこまめな情報も皆さん方を出して、なんとなく緩く、伝達も横につながったネットワークを作りたいですね。サークルにすると、誰が代表になって誰がどうするということをととても面倒くさがるので。</p>
渡辺瞳委員	<p>そうですね。サークルを作るとなると代表がいて、公民館とコンタクトを取ってどうのこうのとか、いろいろ複雑なことが出てきます。</p> <p>サークルはあるのですけれども、公民館との関係が大変なのです。子育てしながらですからね。</p>
郷議長	<p>そのような新しい支援の仕方、少し緩やかな支援の仕方も考えてもらえるといいかなと思います。</p>
横坂委員	<p>セカンドライフ農業体験事業のところなのですが、延べ参加人数が344名というすごい数字なのですけれども、同じ人が繰り返すということもあるとは思いますが、仲間作りは怎么样了か。</p>
坂井輪地区 公民館 岸本館長	<p>実際はこの方々が仲間になっているかという、なかなか難しいようです。農業体験の場合は、いざサークル化したとしても実際に耕作する場所が見つけられるかという問題が一つあります。市民農園も非常に人気があり場所がないので、そういうニーズに対してどのような方向でいけるかが一つの問題ではないかと思っています。</p>
佐藤委員	<p>事業評価シートに坂井輪地区公民館運営審議会委員意見という欄がありますが、これは市役所のどこかの部署に出す資料なのかということが一つです。</p> <p>次に、成果の欄で受講者の満足度というのはなんとなく分かるのですが、受講者の気づきという項目で目標値を上回ったみたいなことがあります。こういういろいろな事業で、気づきを目標値にしているというのはどういうイメージなのか。</p> <p>次に評点とありますが、多分三つの事業の平均点で4点、4点、3点だとそのくらいになるのか分かりませんが、どういう形でこれが出てくるのか。例えば上の方の</p>

	80 パーセント以上だと4なのか。3点お聞きしたいと思います。
坂井輪地区 公民館 岸本館長	<p>1点目のこの様式については、どこかに出しているのかというよりも、新潟市公民館全体の統一の様式になっており、8区内の公民館すべてが事業についてこういう形で評価するというやり方になっています。</p> <p>この資料は議事録としてホームページにも載りますので、一応公表されるということです。</p> <p>2点目ですが、受講者からアンケートを提出していただき、その中に気づきの欄があります。こういうことに気づいたとかいろいろありまして、それを合計して平均したものがこの数字になっています。</p> <p>ただ、事業がすべてアンケートを取れるわけではないのですが、取れたものについて集計しています。</p>
事務局	<p>評点も決まった書式がありまして、その中で評価者が自分で選んでいきます。そうすると何点という点数がつくので、それを平均した数字です。</p>
佐藤委員	<p>この事業評価は、8地区公民館みんな同じものでやっているという話がありましたが、それを集めて基にして検討するとか、こういういいものがあるから全公民館で同じ方向に目標を立ててやろうとか、どのように使われているのですか。</p> <p>これだけの事業評価シートを作っているのだから、8地区公民館が同じ形でやっているのであれば、8地区みんなが集まって、これからの公民館はどうすればいいのかとか、事業評価をしているのだから、そこから何か見えてこなければ作る意味がないのではないかと。ただ作って終わりましたで済ませずに有効に使ってほしいというのが私の意見です。</p>
坂井輪地区 公民館 岸本館長	<p>今ほど佐藤委員からいただいたご意見は、次の公民館長会議などで、そういう場を設けてもらうよう意見を出したいと思います。</p>
渡辺正友 委員	<p>ここでいう受講者の気づきには、いわゆる改善点の意見も中にはたくさんあるのでないかと感じましたが、この改善点を見ますと1行か2行くらいしか書いていないのですけれども、これが何らかの形で生かされているのかという点を聞きたいのです。</p>
坂井輪地区 公民館 岸本館長	<p>評価シート自体は、例えば1番の地域コミュニティ活動の活性化支援事業については、三つの事業をトータルしたものを載せてあります。事業評価自体は、三つの事業についてそれぞれに評価したものがああります。</p> <p>ここには要約した要点のみを書き出してあるのですが、当然事業ごとにいろいろな意見が出ております。評価で継続すべきとした事業で改善できるものについては、予算などの問題もありますが、ぜひ取り入れていきたいと思っています。</p>
郷議長	<p>私が気づいたのは、受講生の気づきという文言ですけれども、学べば何かしら気づくのです。しかし、社会教育で学んだ成果は、学んで気づいてその人の行動が変わらないと学んだことにはならないのです。その辺り、1項目4回の講座に行けばいろいろなことを学ばせてもらうことで気づくのですが、その後どう行動が変わったかのよ</p>

	<p>うなところが、何となく感想でも何でも出てくればとてもいいと思います。</p> <p>これは難しいことなのですが、そういうことを感じつつ「これだけ細かい評価をどうやって活用するのですか」と何年前に一度意見が出たような気がします。</p> <p>その頃は、委員のところ事前に評価シートが送られてきて、意見を書いて返送して、そして審議会でということだったのですが、今回の意見は、この場でお話いただいたことをまとめて出すということなので、これだけ立派なものを形だけではなく次の事業に活用してほしいというのが皆さんのご意見なのではないかと思しますので、よろしくをお願いします。</p>
郷議長	<p>坂井輪地区公民館についてはよろしいでしょうか。</p> <p>次に、西地区公民館からお願いいたします。</p>
西地区 公民館 玉木館長	<p>資料1-2-1及び1-2-2により平成29年度事業報告及び事業評価について説明。</p>
郷議長	<p>ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありませんか。</p>
横坂委員	<p>公民館利用者の減少ということで、どこの公民館もそういう問題が出てきていて、高齢者が来られなくなった、健康の問題、交通機関、車の運転ができないなどの問題と同時に民間の教室に行く人が大変増えています。</p> <p>お金を払って民間でやっているところは、生涯学習ではなく、社会教育の場でもないし、社会的に循環するわけでもない。</p>
西地区 公民館 玉木館長	<p>カルチャーセンター等でやっている事業と公民館でやっている事業が一部被るところもあるのですが、公民館は手軽に費用もかからず使えるというのが、まだ一般まで周知されていないようなところもあるかと思えます。</p> <p>男の料理教室でカルチャーセンター等では、1回当たりの材料費を含めた受講料が二、三千円かかるのが、公民館であれば材料費しかかからないところを一般の方に知られていないので、あらゆる媒体を利用して公民館はこんな楽しいところだということを含めてPRしていくのが第一かなと思います。</p>
渡辺瞳委員	<p>中野小屋ひだまり学級では、中学生と一緒に太極拳を楽しもうということで、非常に提案することはよかったと思うのですが、参加者が7名でした。評価シートにも改善点として、赤塚、中野小屋の出前講座はいずれも参加者が少なく、広報を含め参加しやすい工夫が必要であると書いてあります。中学校でやったならば、もっと中学生を集める内容にしてもよかったのでは。</p>
西地区 公民館 玉木館長	<p>こちらの事業は赤塚、中野小屋でやっており、農閑期を利用して募集をするのですが、いずれも高齢者の方が外に出れず、冬期間で人出も少ないため、あらゆる手段で参加者を増やしていきたいと思っています。</p>
佐藤委員	<p>今のお話に関連して、延べ参加者数というのは、子どもの居場所づくりというかフリースペースの利用者数が圧倒的に多いため、それで1万人くらいの数字が出てしまうと他のものがよく見えないので、その辺は別枠で設けたうえで他の事業は実際どう</p>

	<p>なのかの方が、延べ参加者数で2倍も違うのかというと中身の事業はほとんど変わらないみたいなのがあるので、それは一つ工夫が必要なのではないかと思います。</p> <p>先ほど公の施設の話がありました。子どもの居場所づくりみたいなものと、内野にはまちづくりセンターというきれいな建物があって、クーラーが効いていて机が置いてあって、夜遅くまで子どもたちがいつでも勉強できる。より明るくて安心して勉強できる。</p> <p>はっきり言って西地区公民館は汚いのです。当然、向こうに行ってしまうのが当たり前なのですが、公民館も公の施設なので、その辺をこれからどうするか。人数だけではなくて、そこは差別化してもいいのではないかと私は思います。</p> <p>西地区公民館で男の料理教室がありました。私も参加しましたが、他の講座は圧倒的に女性が多いのですが、この講座は男性が対象で参加した方の中では、講座終了後も継続して活動している人もいます。</p> <p>この講座には、本当に外に出なくてご飯も炊いたことがない人や、人とほとんど話したこともないような方も参加しています。</p> <p>公民館は、何をするか分からない、どうしていいか分からないという方も来て、しかしやってみると面白い。料理を作ったあとに自分たちで作ったものを食べるのですが、その中で一緒にいろいろな話をするわけです。料理をすることだけではなくて、地域の方ですから「お前さんどこの人だ。」みたいな話から始まって、面白いので続けたいという話が出ます。</p> <p>何が言いたいかというと、男の人はどうやって参加すればいいのか分からない。奥さんに「あなた行きなさい。」と言われても行けない。参加してみるとそれなりに面白いことが分かるのですが、本当に男性の参加者は少ないのです。その辺をいかに工夫して参加したいという気持ちにさせるかということを、公民館で集まってよく検討していただければありがたいと思います。</p>
横坂委員	<p>建物のきれいさとかいろいろあるのですが、コミュニティ協議会は地域活性化の視点だと思うのです。公民館は生涯学習です。その視点を混同すると本当に公民館が公民館でなくなったりします。</p> <p>同じところでどちらがいいかと言ったら、予算などが違いますから負けるに決まっているのです。そこを公民館がいかに意味を持っているかを押さえていかないと、予算から言っても市の力の入れ方からしても、公民館が負ける必要はないし、堂々と生涯教育をやっていけばいいと思います。社会循環を作っているのは公民館だと思いますので生涯学習の視点をどこまでもずらさないで行くことで、生き抜いていけるのではないかと思います。</p>
西地区 公民館 玉木館長	<p>そうですね。1回限りとせず、一生懸命やっていけるような講座とか事業という形で紹介していければと思っています。</p>
佐藤委員	<p>それに関連してですが、横坂委員がおっしゃったことはごもっともだと思うのです</p>

	<p>が、例えば居場所づくりとかフリースペースのどこに生涯学習の観点というか、生涯学習の視点があるのですかみたいな話になってしまうのです。</p> <p>現場を見ると職員が大勢付き添っていろいろやれるとか、「今度下級生が来たら教えるような立場になってやってください。」ということであればいいのですが、現実的には、多分そういうことは全くないと思います。</p> <p>生涯学習と私たちが叫んでも、現実とずれてきてしまっているのです。生涯学習なので続けなさいということだと思うのですが、現実はそのようなのでそこをどうするのか。</p> <p>私は、切ってもいいところは切っていくないと、人もいないし、例えば年間1万人も来る子どもたちを公民館の職員が相手にできるわけがない。そうかといってボランティアが面倒を見られるかというボランティアもいない。その辺の現実をどうするのか。</p> <p>私は、そういう部分は別のところの地域活性化でも何でもいから、そういうところに任せてもいいのではないかと、そこら辺の議論もこれから必要になってくるのではないかと思います。</p>
郷議長	<p>多分、公民館は社会教育、生涯学習は決して外してはいけないと思うのです。</p> <p>ただ、フリースペースに来る子どもたちに対応する人がいないというのが現実です。子どもたち自身がそこに足を運ぶことで、きっと公民館というものはいろいろな人が来て何かしている場所だということだけは、その環境の中で何かしら目にしたり感じたりすることも、広い意味での学びの一つというくらいのところで、横坂委員がおっしゃるように、公民館がこれから頑張っていくのにそこを混同しないような形でやっていくということが自然のあり方、持ち方かなと思います。</p>
郷議長	<p>熱い生涯学習、社会教育と地域の人たちみんなとかかわっていくことで、それが少しずつ広がる一つの方策になるのではないかとということでもあります。</p> <p>次に、黒埼地区公民館の報告をお願いします。</p>
黒埼地区 公民館 鈴木館長	<p>資料1-3-1及び1-3-2により平成29年度事業報告及び事業評価について説明。</p>
郷議長	<p>黒埼地区公民館のご説明について、何かご意見はございませんか。</p>
渡辺正友 委員	<p>おとなの男の楽しくクッキングは、その後自主サークルができたとかいった情報はありますか。</p>
事務局	<p>実際にサークル化されて定期的開催されております。</p>
渡辺瞳委員	<p>公民館の掲示板に、サークル化されてこんな会ができたという話は掲示されませんよね。こんな事業をしてすごく盛況でした、こんなふうにして楽しかったということは掲示してもいいのではないかと思います。</p>
郷議長	<p>そうですね。PRできれば利用団体が増えるかもしれません。</p>
渡辺瞳委員	<p>新しいこんなグループができたのだということを知ることできますよね。それが</p>

	分からないのです。
佐藤委員	<p>今ほどの意見、私もいいと思います。西地区公民館で映画を始めたのですが、毎回40人くらいずつ来て、来た人に聞くと、よかったねという意見も多くあるが、そういうものは確かに外に向けてどこにも出ていないですよ。</p> <p>例えば、映画とてもよかったねとか、面白かった、出てきてよかったとかそういうものが載ると、じゃあ俺も、みたいに人が出てくるかも知れませんね。</p> <p>そういう発想は全然なかったの、私は非常にいいなと思いました。</p>
坂井輪地区 公民館 岸本館長	<p>ただいまのご意見は、黒埼だけの問題ではありませんので、今はホームページもありますし、各館ごとにフェイスブックのページを持っております。そういうところを利用してどんどんオープンにしていきたいと思っております。ご意見ありがとうございます。</p>
郷議長	<p>「自転車のルール大丈夫!!」という事業なのですが、何年生を募集しているのでしょうか。これは私の知っている限りは、3年生とか5年生に学校できちんと授業の時間を使って地域も協力して自転車教室をやっているのです。それ以外に単発でこれを行ったということは、2年生とか4年生で何か事故があったとか、急にこういうことをしようと思ったとかそういうことですよ。</p> <p>普通、学校でやっているところで、そこにはふれあい協議会もいろいろ協力しているのですけれども、さらに単独でやる狙いとか目的があったのでしょうか。</p>
黒埼地区 公民館 鈴木館長	<p>この事業は、3年生以上を対象に呼びかけております。地元のふれあい協議会を含めた参加ということで計画させていただいているのですけれども、今一度ルールを再確認してもらおうということでやっている事業です。</p> <p>特定の学年だけやっているような話ではなくて、立佞校区ふれあい協議会が固有でやっているものということでご理解いただきたいと思います。</p>
郷議長	<p>学校の授業でもやり、そこでも協力しているけれども、さらにフォローアップという形で単独で学年を超えて募集するということですか。分かりました。</p> <p>では、続いて小針青山公民館からお願いします。</p>
小針青山 公民館 河原館長	資料1-4-1及び1-4-2により平成29年度事業報告及び事業評価について説明。
郷議長	ただいまのご報告について、何かご意見はありますか。
渡辺瞳委員	<p>「運動が苦手な人のための元気づくり」はとてもいい題ですよ。運動が苦手な人からいかにして元気を作ってもらおうかというのはとてもいい趣旨だと思うのです。</p> <p>しかし、運動が苦手な人だからこそ出にくいわけで、外に出にくい、行きにくいのに先ほどの評点を見ると、年間を通じて運動ができる事業であったが、企画等の遅れにより広報が遅れたことにより参加者が少なかったという残念な報告でした。</p> <p>運動の苦手な人のためであれば、もう少しお知らせや参加者を募集する仕方を変えないと苦手な人は出てきませんよね。人数が少ないのは、その辺が少し問題なのでは</p>

	ないかと思えます。
小針青山 公民館 河原館長	<p>これは平成29年度の新しい試みであり、今まで元気塾ということで短期的にやっていたのですが、年間を通してやっていくということで、レクリエーション協会との調整が遅れましてこのようになっています。</p> <p>今年は、30人の定員ということで募集したところ、50人くらいの申込みがありました。何もしなくてもたくさん集まってくるので関心があると思えます。</p>
横坂委員	<p>発達障がい児家庭教育学級は、小針青山公民館の特色ある新潟市でも唯一継続して行われている講座だと思えます。来年度も形は違いますが、実施することは必要なことだと思えます。</p> <p>私はこの講座に全部出席してみたのですが、今年は、講師の方が「私が子どもたちに対応しますから一緒に連れてきてください。」ということで、発達障がいを持った子どもたちも一緒に講座を設けて、子どもの声が聞こえる中での勉強会というのは心地よかったです。</p> <p>親子を分離するのもいいけれども、そういう意味で特に発達障がいの子を抱えている家庭としては、離れてパニックを起こしているのではないかという心配がなく、何かあっても大丈夫ですという声かけをしてもらったのは大きかったのではないかと思えます。</p> <p>それで、今回は、おじいさん、おばあさんの参加があったのですが、一緒に参加するだけではなくて、娘が結婚して遠くに行っているのだけれども、孫が発達障がいなので、自分たちは新潟のここで勉強しようと参加していました。だからとても大きい働きをしているのではないかと思えます。</p>
小針青山 公民館 河原館長	<p>この講座は、平成23年からやっています、本当にいろいろあるので一つの枠にはまらないと思えますけれども、その辺を一つでも理解を高めていてもらいたいと思えます。</p> <p>私も小学校の評議員をやっていると、特別支援学級の先生方は本当に大変であり、発達障がいの子が本当に増えてきているという話も出ていますので、だんだん身近になっているのかなと感じています。</p>
横坂委員	<p>講師の方が人権に関して非常にしっかりとした視点を持っていらっしゃったので、それがとても伝わってきて発達障がいの子とのかというのではなくて、子どもの人権とか親の人権という視点をきちんと持った方が講師をされることは、ずいぶん大きいのだなという感想を持ちました。</p> <p>だから安心できるというか、理屈や発達だけではなくて人権に対する認識のあり方が、とても大きいのだと感じた講座でした。</p>
高橋委員	<p>私も事業に参加させていただきました。発達障がいとは何かということを説明してくれるテレビなども多いです。けれども、この講座は行動をとらえた支援を説明してくださり、支援の仕方によって子どもたちの対応が全然違うことを学ばせてくれました。</p>

	<p>子どもたちの問題を10となる問題なのか、3となる問題なのか、支援の仕方によって変わるのだということを明確にしてくださいました。</p> <p>その視点を学ばせていただくと、困った子どもではなく、個性のある子どもという感じで捉えることができるのではないかと思います。</p>
横坂委員	<p>そのあと講師の方がずっとそこにいて、個々に自分の子どものことを相談できたということも公民館ならではのと思いました。</p>
郷議長	<p>発達障がいの子どものための講座は、結構あちこちにあります。私は聞けなくて残念でしたが、困った子どもを支援する人も支援の仕方が分かったとか、困った子どもだと思っていたおじいさん、おばあさんが学ぶことによって、若いご家族を支援できる何か講座で学べたというようないい講座だったのではないかと思います。</p>
渡辺正友委員	<p>今の報告を聞いて私が非常に感動したのは、子どもの人権、親の人権も含めた講座であり、人権啓発活動事業の一環でもあるような講座は本当に続けていただきたいと思います。</p> <p>医学的にどうこうというのも大事な部分だけれども、一人一人の人権についての重要性を講師の方が力説されたということは、非常に感動の報告、活動だったと私は感じています。</p>
郷議長	<p>ほかに、小針青山公民館の事業に関してご意見があればお願いします。</p> <p>なければ平成30年度の事業計画について、1館5分ということで端的にここだけということでご説明をお願いします。</p>
坂井輪地区 公民館 岸本館長	<p>資料2-1により平成30年度事業計画について説明。</p>
郷議長	<p>平成30年度の計画について、何かご意見はありませんか。</p> <p>多世代交流事業（月曜は野菜づくり）の20歳以上の市民15人というのはとてもいい考えだと思うのですが、時間が午前10時からというのはなかなか難しいのではないのでしょうか。</p>
坂井輪地区 公民館 岸本館長	<p>今現在は、黒埼荘の休館日を利用させていただいている関係で、どうしても月曜日の午前中という設定になってしまいます。場所の選定やいろいろな世代から参加していただくとなると、どうしても休日の設定が必要になってこようかと思います。</p> <p>そうなったときに、場所を提供いただけるかどうかというのが一つのポイントになると思いますので、参加者のご意見等もお聞きしながら来年度の事業計画の参考とさせていただきます。</p>
郷議長	<p>野菜作りで多世代にすると、もう少し皆さんが来られる時間帯を優先していただきたいと思います。とても無理がある多世代交流だと思ったのでお願いします。</p> <p>次に、西地区公民館からお願いします。</p>

西地区 公民館 玉木館長	資料2-2により平成30年度事業計画について説明。
郷議長	西地区公民館の平成30年度事業計画について、ご意見ご質問はありませんか。
渡辺正友 委員	平成29年度は男の料理教室が大変好評で、いろいろなグループができたという話もあったのですが、そういった企画は平成30年度を見ると入っていないように見えるのですが。
西地区 公民館 玉木館長	男の料理教室は、昨年は途中で事業化したわけですが、おかげさまで自主グループができました。基本的には、要望等があれば自主グループを紹介したいと思いますが、場合によっては予算面とか講師が確保できれば、年度途中でも新たに実施したいと思っています。
渡辺瞳委員	平成29年度は、第1回うちの新川音楽祭が「第1回」と書いてあるのですけれども、平成30年度の開催はないのかなと思ったのですが。
西地区 公民館 玉木館長	うちの新川音楽祭は、任意団体が過去に神社の境内で開催していたのですが、昨年は、まちづくりセンターができたので新たにそこで開催しました。 今年度の事業計画は、まだ不明で事業計画には載せていないのですが、共催依頼等があれば、こちらも協力して開催に向けて準備させていただきたいと思っています。
郷議長	続きまして、黒埼地区公民館からお願いします。
黒埼地区 公民館 鈴木館長	資料2-3により平成30年度事業計画について説明。
郷議長	黒埼地区公民館の平成30年度事業計画について、何かご意見はございませんか。 一つ聞いていいですか。茶の間の学校は、今までほかの区でやっていたものの西区版なのでしょうか。 また、今まではけっこう回数が多かったのですけれども、3回ということは、1日の講座ということですか。
黒埼地区 公民館 鈴木館長	今年は西区と江南区で、9月からが私どもの黒埼地区公民館です。今まで半日ずつで細かく5回くらいに分けていたものを1日にして回数を減らしています。それで、黒埼で聞けなければ、江南区で聞いてみようというような形で連携を取っていきます。
郷議長	続きまして、小針青山公民館からお願いします。
小針青山 公民館 河原館長	資料2-4により平成30年度事業計画について説明。
郷議長	小針青山公民館事業計画について、何かご質問はありませんか。
横坂委員	発達障がい者家庭教育学級ですが、ネーミングに問題が出てくると思います。 発達障がいの勉強会とか講座でも、自分の子どもの発達障がいを受け入れるまで、ものすごく時間がかかっています。

	<p>そこに参加することによって、自分の子どもが発達障がいだと思われることは、いろいろな状況の中で不安に思われる親御さんもいらっしゃいます。</p> <p>例えば「発達障がいを考える家庭教育」、そして横に家庭教育学級とか。その辺の配慮をお願いしたいと思います。</p>
小針青山 公民館 河原館長	<p>チラシ等にはその辺のことを考えていきたいと思います。</p>
横坂委員	<p>全体としてなのですけれども、次世代の男性が参加できる、行きたいと思う講座がないような気がします。次世代という話は出るのですけれども、では次世代が来られる、来たいと思う講座がこの中にあるだろうかと思うと、いないと言うのは簡単なのですけれども、そこを何とか生み出していくというアイデアというか。</p> <p>これは一つの館だけでは難しいと思うのですけれども、何か見つかると思います。見つからないとは思いません。</p> <p>お父さんが行くと言うだけではなくて、お母さんたちが見て「お父さんこの講座行ってきてよ。」とお父さんを行かせたくなるような講座を作る。そして行ったら得をして帰ってくるような講座を検討していただきたいと思います。</p>
小針青山 公民館 河原館長	<p>事業というのは、全部で25館ありますので、面白いものがあれば参考にしながら検討していきたいと思います。</p>
横坂委員	<p>犯罪、防災のことなのですが、公民館にはたくさんのお年寄りが来られています。社会参加しているわけですから、目配り、気配りをするのできる方々だと思います。</p> <p>例えば、犯罪に関する情報が西警察から出ていますよね。それをスマートフォンで見るという手段もありますが、通りがかりのところに張って来館者が帰りにそれを見て気をつけようとか、目配りしようとか、そういう気持ちを動かすことにより、時間があり外に出ている年配者ができることの一つかなと思うのです。</p>
郷議長	<p>公民館に掲示するということですか。</p>
横坂委員	<p>公民館にです。公民館は宝の山ですから。</p>
郷議長	<p>そういう場所を決めておけば、みんながそこを見て分かりますね。</p>
坂井輪地区 公民館 岸本館長	<p>男性が参加したくなるような講座が組めるようであれば、取り組みたいと思います。</p> <p>今回、私どももプレママ講座で、パパを巻き込んだ形でやっていこうということも考えております。</p> <p>2点目の部分ですけれども、今回の小針小学校の事件を契機に学校警察連絡協議会という団体が、以前から不審者などが出るとメールを学校に流していて、学校ではメール登録している保護者に不審者の情報を流していたのです。</p> <p>今回から西区では教育委員会から学校だけではなく、区の施設や児童関係の施設に全部情報が流れることになっています。</p>

	<p>それを受けまして、坂井輪地区公民館では不審者情報というコーナーを設けまして、5月から流れてきた情報を掲示しています。フリースペースを利用している中学生、高校生は、毎日のように見ているようです。</p> <p>また、私どもには西区の情報だけではなく、全市の情報が届きますので、全部めくって見られるようにして掲示しています。怪しいイラストなども添えて割と目立つように作っていますので、よろしければお帰りの際にご覧いただければと思います。</p>
横坂委員	<p>個人でメールを見るよりも、友だちと通りかかって「こんなことがあったんだね」と会話することで、子どもたちを守ろうという意識を持った方の思いが集まるような気がします。不審者情報は、皆さんが見たくなるような工夫をお願いします。</p>
郷議長	<p>横坂委員が言いたいのは、届いたメール配信のまま載せるのではなくて、みんなで「地域の子どもを守ろう。」みたいなイラストと一緒に見やすいように、みんなが見たくなるような、より活用できるような掲示の工夫を考えてほしい。</p> <p>先ほどの渡辺委員の新しいサークルができましたとか、チラシの中にも「昨年参加したらとてもよかった。」みたいな男性の声が入るような構成で、いろいろなところで次世代、男性が行きにくいとか、もちろん時間とか曜日も考慮して、プレパパは忙しいことがたくさん多いので時間などを配慮していただいて、より広いつながりができるような公民館活動につなげていければいいなというご意見だったと思います。</p>
渡辺正友委員	<p>高齢者というと、私は特殊詐欺を思い出すのです。特殊詐欺は本当に西区が多いのです。比較的、1万円や2万円のお金ではないから、そういう意味では被害に遭うような人は恐らく公民館には来ないかもしれないけれども、今のお話のように、そこを通ったときに、特殊詐欺に気をつけなければいけないというものが、もし、白黒でもよいので張り出されてあればいいと思います。</p>
渡辺瞳委員	<p>坂井輪地区公民館にも小さいものが掲示してありますよね。しかし、今の不審者情報の話と同じであれでは分からない。掲示の仕方に問題があると思います。</p>
坂井輪地区公民館岸本館長	<p>分かりました。職員で掲示方法の工夫を考えてみたいと思います。</p>
郷議長	<p>なかなかたくさんさんの要望が公民館には求められていると思います。特殊詐欺といえば、今新潟市は健康寿命延伸とか少子化対策とかで、一番地域で問題にされているようなことで気になることがたくさんあって、それを知らない方もたくさんいると思います。そういったことも、講座に来なくても図書館に行くついでとか何かのついでに目にしていれば、地域を促すことになっていくのではないかと思います。</p>
郷議長	<p>講座だけでなく、そのような思いがたくさん詰まった1番、2番の報告、評価、計画というところだったのではないかと思います。</p> <p>では、その他をお願いいたします。</p>
坂井輪地区公民館	<p>その他として1点だけご報告させていただきます。特に資料等はお配りしてありません。</p>

岸本館長	<p>前回の審議会において、黒埼地区公民館の分館である黒埼北部公民館について、地元から要望などが出ているというお話をさせていただきました。その後、本年度に入りまして、少し具体的な動きがありましたので、ご報告させていただきたいと思えます。</p> <p>5月に開催された立佺校区ふれあい協議会の区政懇談会において、地元の立佺校区ふれあい協議会から同公民館にふれあい協議会の事務局を設置させてもらえないかという意見が西区に対して出されました。その意見と併せて同公民館の管理運営についても一番よい方法を市と一緒に検討していきたいという意見も出されました。</p> <p>各地域のコミュニティ協議会事務局が公民館に設置されるケースについては、西区でもこの坂井輪地区公民館にも坂井輪中学校区まちづくり協議会がありますし、先ほどご紹介がありました江端委員の黒埼南部公民館の例などがあります。</p> <p>今回の立佺校区ふれあい協議会の意見については、現在、協議会が活動するための拠点とする場所がないことから求めているもので、加えて黒埼南部公民館のように協議会が公民館の運営までは行きませんが、鍵の貸し出しといったような管理を請け負うことを視野に入れてというお話のようです。</p> <p>この意見に対して、西区の笠原区長からは、三つ方法がありますということで回答いたしました。一つ目として、公民館は現行のままとして、建物内に協議会の事務室を設置するという方法が一つ。二つ目として、公民館自体を廃止して先ほどのお話でありました、内野まちづくりセンターなどのようにコミュニティセンターなどに施設を変えてしまって、民間を含めた公募という形で指定管理をするという方法が二つ目です。三つ目としては、公民館の管理運営を黒埼南部公民館のように地元のコミュニティ協議会に委託するという三つの方法から地元の立佺校区ふれあい協議会にご検討いただきたいという回答をしました。</p> <p>区長としては、現時点では三つ目の公民館の管理運営を地元コミュニティ協議会に委託して、そのうえで事務室を黒埼北部公民館に設けていただくのがベストの方法ではないかという意見をつけて回答しております。いずれの方法にしても一長一短あるかと思えます。</p> <p>今後は、コミュニティ協議会の内部で意見がまとまっていないようなので、大体1年くらいかけて、今年度中に地元としてどのような方向性でいくのか結論づけていただくことになっております。</p> <p>また、その結果によって教育委員会に対して正式に協議がなされてくるかと思えます。その場合、黒埼北部公民館については定期利用団体の数も60団体くらいありますし、新潟市でも非常に利用の多い公民館ですので、利用団体や利用者など関係者への説明が必要になってまいります。</p> <p>また、現在、あそこは公民館だけでなく西区の行政サービスコーナーが併設されており、その行政サービスコーナーの扱いなど検討、解決を図っていかなければならない問題が非常にたくさんありますが、今までぼんやりとしていたものが、今回、区政懇談会で取り上げられたことにより、方向性がある程度明確になってきたのではない</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>かと思えます。</p> <p>いずれにしましても、年度末を目途に方向性が決まってくると思えますので、何か動きがはっきりしたら審議会の皆さんにもご報告させていただきたいと考えております。</p>
江端副議長	<p>黒埼南部公民館は、今お話しのように地区公民館の分館という形になっておりますが、基本的にふれあい協議会の委託を受けている施設なものですから、直接の企画事業はほとんどないのですけれども、ふれあい協議会自身の事業として、ほとんど毎月のように輪投げ大会とかいろいろな事業があるのです。</p> <p>それから、新潟市にも青山コミュニティーハウスとか地元のふれあい協議会が受託を受けて管理している施設は、地域密着型でこれと似たような事業、地元ですから顔が見える人たちだけを対象にして、年寄りとか若者を含めたいろいろな事業をいろいろなところで企画しているのですけれども、そういうものを目指すような形で、最終的にどれがいいかということは出ていないかもしれませんが。</p> <p>それから、事業的に公民館はいろいろ事業をやっていますけれども、コミュニティ協議会、自治会を含めたところもいろいろと事業をやっています。例えば、移ったとしても、事業は継続的に同じようになるのかなとは思っているのですが。</p>
坂井輪地区 公民館 岸本館長	<p>黒埼北部公民館でも黒埼地区公民館において自主事業をやっています、それは運営の形が変わったとしてもニーズのあるものについては、当然同じようにやっていかなければならないと思っています。</p>
横坂委員	<p>公民館に社会教育主事がいる意味は、絶対にぶれてはいけないと思います。</p> <p>便宜上、事業は変わらないということは、もちろん表面上は分かるのです。</p> <p>その根幹に社会批評という思想があるかどうかというところをどう考えていくか。</p> <p>はじめからそれは要らないのだという結論にすればいいと思うのですけれども、そこはきちんと話し合わなければいけないと思います。</p>
坂井輪地区 公民館 岸本館長	<p>ご存知のとおり、西区の公民館はどれも多くの方からご利用いただいております。</p> <p>一方であまり利用のない公民館が存在するのも現実問題です。その辺りを含めて今後、新潟市の公民館がどういう方向に向かっていけばいいかという岐路が差し迫っております。</p> <p>今年に入って西蒲区の峰岡公民館という小さい公民館が黒埼南部公民館と同じように地元への委託になりました。その形がふさわしいと思われる公民館も現実もあり、その辺りは地域の実情とニーズに合わせて考えていくべきではないかと思えます。</p> <p>西区でも赤塚公民館や中野小屋公民館などは、あまり稼働しておらず、人口規模が少ないので活発に活動させようとしてもなかなか機能できないのが現状です。</p> <p>その辺りを含めまして社会教育の理念というものは当然あると思えますが、市内全体の公民館について、あり方を考えていくべきではないかと思えます。私見も交じっていて大変恐縮ですけれども、私はそのように考えております。</p>
佐藤委員	<p>よく分かりました。公民館のことは公民館主体で十分検討してください。先ほど中</p>

	<p>央公民館から話がありましたという話がありました、昔の話は分かりませんが、ほとんど何も検討の報告が出されていないと思います。</p> <p>私は、各地区公民館、分館、全部事情が違うのだけれども、行政サイドの都合で利用がないから委託しろとか、そのような話にぼんぼんと乗らないで、本当に必要性とか実態をきちんと公民館主体で考え、公民館自体がしっかり意見を持ってやっていただきたいと思います。</p>
郷議長	<p>前回、黒埼北部公民館については、利用者が多く所属サークル、団体も多いので小針青山公民館のように地区館に上げるみたいな話まで出ていたのが、区政懇談会で地域からの要望がとれたということです。</p> <p>私たち運営審議委員としては、本当に公民館を大事に思っていますし、かといってその地域で自分たちの拠点がほしいという、コミュニティ協議会等の地域の声も大切だと思いますので、その辺りを十分審議し、皆さんがいいという形で結論を導き出せば、絶対反対も絶対賛成も言えないところです。地域の声、そして公民館でも利用者の声等を含めて検討を重ねていただければありがたいと思います。</p> <p>皆さん、長時間にわたりご審議ありがとうございました。進行を事務局に返させていただきます。</p>
事務局	<p>皆様、お疲れさまでした。以上で本日の坂井輪地区公民館運営審議会を終了させていただきます。</p>